

令和7年度



喜多見の教育

第2学年

キャリア教育 年間指導計画	1
人権教育にかかわる 年間指導計画	2
教科「道徳」 年間指導計画	3
総合的な学習の時間 年間指導計画	6
教科「日本語」 年間指導計画	7
各教科年間指導計画・評価計画	8

世田谷区立喜多見中学校

令和7年度 キャリア教育 年間指導計画 2 学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標

「自分の良さを活かす」

体験的な活動での情報を積極的に取り入れ、人として生き抜く力を身に付けられる生徒を育成する。

月	テーマ	活動
4	2年生になって (作文) 2年生の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートなどを活用し自己理解を深め、表現する。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	職場体験に向けての取組 職場体験・事前 (キャリアパスポート)	将来の自分、働くことについて考え、体験的な活動に向けて情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校調べ 上級学校訪問に向けての取組	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返る (キャリアパスポート) 夏休みの計画 上級学校訪問 (7～8月)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。 上級学校を訪問し、その内容をまとめる。
9	学期の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。
10	職場体験・自己PRの作成	自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。
11	職場体験・事後 (キャリアパスポート)	体験活動等とおして、勤労への意欲や働く人々の思いを理解し、自分が考えたこと、経験したことを表現する。
12	学期を振り返る、学期の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。
1	自分の特性と進路	自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	校外学習に向けての取り組み	校外学習に向けて計画を立てる。
3	社会人の話を聞く会 校外学習・1年間を振り返る (キャリアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組む態度を育成する。キャリアパスポートを活用し、校外学習や、1年間を振り返る。

※単元や内容を変更する場合があります。

<考え方>

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。生徒理解を深め、新学級での生活適応を図り、望ましい人間関係を築く。生活面・学習面での基礎をつくる。日常の生活からTPOや言葉遣い等を意識しながら、「運動会」への取組を通して自ら判断して行動し、望ましい人間関係を構築しようとする態度を育成する。					1年生での身近な人たちの職業調べを基盤にして、2年生では「職場体験」を行い、自分の将来について考えさせ、働くことの意義や職業について理解を深めさせる。また、「合唱コンクール」を通して生徒同士がお互いに認め合える集団を育成する。				「校外学習」への取組を通して、事前・事後学習や、集団行動でのルール決めなど、生徒が主体的に自分の課題を選択・解決・発表する能力を育てる。		
各教科						社会科：「江戸幕府の成立と鎖国」 【同和問題】 【人権全般】				社会科：「北海道地方」 【アイヌの人々】 【人権全般】	社会科：「開国と近代日本の歩み」 【人権全般】	
特別の教科道徳	よりよい学校生活、集団生活の充実／自主自立自由と責任	相互理解、寛容／友情、信頼／社会参画、公共の精神	公正、公平、社会正義／生命の尊重／自主自立自由と責任	喜び／家族愛、家庭生活の充実	思いやり、感謝／伝統と文化の尊重／真理の探究、創造／遵法精神、公德心	連法精神、公德心／相互理解、寛容／国際理解、国際貢献／自然愛護	感動、畏敬の念／生命の尊さ／向上心、個性の伸長	喜び／希望と勇気、克己と強い意志	向上心、個人の伸長／思いやり感謝／公正、公平、社会正義	生命の尊さ		
人格の完成をめざして	挨拶	思いやり	責任	良心	勇気／健康な体	フェア	公共心	奉仕の心	感謝	やりぬく心	学校を愛する心	
教科日本語	「哲学」もう一度「考える」ことを考える／自然と共に生きることを考える／生きることにについて考える 【表現】相手・場面とことば／演劇で育むコミュニケーションの力					「哲学」自然とともに生きることを考える／ことばと文化 【表現】相手・場面とことば／コミュニケーションの秘密 【日本文化】「衣」－著る				「表現」「日本語」の学習のまとめ 【日本文化】「楽」－楽しむ 「食育」生産者の話を聴く		
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間のガイダンス／進路学習についての導入／職場体験に向けての取組／上級学校訪問に向けての取組					職場体験／色々な社会に触れよう				校外学習に向けての取組／校外学習／総合学習のまとめ		
特別活動	学級目標設定 ・前期組織作り ・自己を知る ・授業規律の確立	生徒総会への取組 ・中間考査の準備と反省 ・運動会への取組	進路学習 ・期末考査の準備と反省	1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方	夏休みの反省 ・学期目標設定 ・職場体験 ・中間考査の準備と反省	後期組織作り ・生徒総会への取組 ・合唱コンクールへの取組	期末考査の準備と反省	三者面談の実施 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	冬休みの反省 ・学期目標設定 ・学習成果展覧会への取組 ・校外学習への取組	校外学習への取組 ・学年末考査の準備と反省	卒業式への取組 ・校外学習	
主な行事	始業式 ・身体計測 ・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・三者面談	中間考査 ・学校公開週間 ・保護者会 ・運動会	道徳地区公開講座 ・期末考査	期末考査 ・終業式 ・三者面談	始業式 ・生徒会役員選挙 ・中間考査	進路説明会 ・合唱コンクール	新入生部活動体験 ・学校公開週間 ・期末考査	三者面談 ・終業式	始業式 ・百人一首大会 ・学校公開期間 ・学習成果展覧会	学校公開期間 ・学習成果展覧会 ・学年末考査	校外学習 ・卒業式 ・修了式	

令和7年度 特別の教科道徳 年間指導計画 2年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていくこととする実践意欲と態度を育てる。	1 年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 巻頭詩(教科書表紙裏・P.1)を読む。 2 「道徳の学習を始めよう」を読んで、これからの道徳科の学びの見通しをもつ。 3 本時の学びを振り返る。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 2 カラカラカラ	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、誠実に実行しようとする判断力を育てる。	自ら考えて行動するとは、どういうことだろう。 1 よいことをしようと思っていたのにできなかった経験話を話し合う。 2 「カラカラカラ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 3 アイヌの歌を歌いたい	本物のアイヌ民謡を歌えるようになりたいという目標を実現したアイヌ民謡歌手の川上さんの姿から、何かをやり遂げようとするとき、その根底にあるのはどんな思いかを考えさせ、より高い目標をもち、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする心情を育てる。	何かをやり遂げようとするとき、その根底には、どんな思いがあるだろう。 1 アイヌ民謡を視聴し、感想を出し合う。 2 「アイヌの歌を歌いたい」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 4 ジョコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと決めつけていた生徒の物語を通して、考え方や立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、互いの考えを伝え合い、それぞれの立場を思いやりって尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	考え方や立場の違いを理解し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「ジョコチュウ」という言葉をどのような場面で見つけたか振り返る。 2 「ジョコチュウ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
5月	【D(19)生命の尊さ】 5 命が生まれるそのときに	詩「いのちの音」と、出産を撮影するフォトグラフィアーの繁延さんの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	生きていることの尊さについて、考えよう。 1 生きていると感じるのはどんなときかを考える。 2 「命が生まれるそのときに」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり、感謝】 6 気づかなかったこと	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が、周りにあふれる思いやりや気づく姿を描いた漫画を通して、日々の生活で人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもちようとする心情を育てる。	日々の生活で、人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何だろう。 1 人の悪いところに向いて目が向いてしまうときについて考える。 2 「気づかなかったこと」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
6月	【A(3)向上心、個性の伸長】 7 嫌われるのを恐れる気持ち	本性を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して、自分らしく生きるとはどのようなことかを考えさせ、自己を見つめ、弱さや自分の特徴であることを肯定的に受け止め、かけがえのない自己を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 1 自分の個性を見つめる。 2 「嫌われるのを恐れる気持ち」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(11)公正、公平、社会正義】 8 明日、みんなを着よう	「ピンクシャッデー」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切かについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していくこととする実践意欲と態度を育てる。	誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「ピンクシャッデー」について紹介する。 2 「明日、みんなを着よう」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(8)友情、信頼】 9 「いじり」って(まなびをプラス)	「いじり」について話し合うことを通して、友情を育むために大切なことは何かを考えさせ、相手の個性を認め、相手に対する敬愛を基に、よりよい関係を築こうとする判断力を育てる。	友情を育むために大切なことは、何だろう。 ※前回の学びを振り返る。 1 「友達」についての考えを振り返る。 2 「いじり」って」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 10 テニスの危機	テニスの活動方針を巡って対立した生徒の話を通して、集団の一員として、よりよくあるためには大切なことは何かを考えた上で、集団として活動する意義と、よりよい集団であるためにどうすればよいかを考える判断力を育てる。	集団の一員として、よりよくあるためには大切なことは、何だろう。 1 自分の所属する集団の、自分にとっての意義や目的について考える。 2 「テニスの危機」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(8)友情、信頼】 11 松葉づえ	松葉づえを突いて生活する転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまふ姿を通して、「友情」とはどのようなものかを考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。	「友情」とは、どのようなものだろう。 1 友達がいなくなったと思った経験を出し合う。 2 「松葉づえ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
7月	【D(22)よりよく生きる喜び】 12 人って、本当は？	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人の持つ強さや弱さを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことを考えさせ、自分の生き方をよりよいものにしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の持つ強さや弱さを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことを考えよう。 1 「性善説」と「性悪説」について確認する。 2 「人って、本当は？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】 13 礼儀は何のため	登場人物が二つの場面で考えたことを通して、礼儀にはどんな心が表れるのかを考えさせ、礼儀の意義を考えたい言動をしようとする判断力を育てる。	礼儀には、どんな心が表れるのだろう。 1 礼儀についての自分の考えを振り返る。 2 「礼儀は何のため」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(13)勤労】 14 段ボールベッドへの思い	避難者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公開した会社の人々の話を通して、働くことのさまざまな意義について考えさせ、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	働くことのさまざまな意義について、考えよう。 1 仕事についてのイメージを出し合う。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
9月	【C(12)社会参画、公共の精神】 15 我が町の消防団	消防団に参加する巻出さんの姿を通して、社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのかについて考えさせ、自分が暮らす地域や社会の中で、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。	社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのだろう。 1 地域貢献の経験を出し合う。 2 「我が町の消防団」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(20)自然愛護】 16 僕の仕事場は富士山です	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るとはどのようなことかについて考えさせ、自然の崇高さを感じ、自然環境を大切にすることの意義を理解しようとする心情を育てる。	自然を守るとは、どういうことだろう。 1 富士山に対するイメージについて共有する。 2 「僕の仕事場は富士山です」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり、感謝／B(9)相互理解、寛容】 なんだろう なんだろう 「ゆるす」って、なんだろう。		家庭学習や朝の読書の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「ゆるす」とは何なのか、考えてみる。
	【A(2)節度、節制】 17 夢中になるのは悪いこと？	ネット依存に関する解説やオンラインゲームに夢中になる生徒の物語を通して、インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	インターネットとうまく付き合っていくための習慣について考えよう。 1 インターネットが、自分にとって大きい存在であることを捉える。 2 「夢中になるのは悪いこと？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
10月	【B(9)相互理解、寛容】 18 見えない誰かと(まなびをプラス)	同じサッカーチームを応援する立場ながら、インターネット上で非難し合うAさんとBさんの事例を通して、人とのコミュニケーションの取り方について考えさせ、相手の立場や考えを理解し、適切に考えを伝えようとする実践意欲と態度を育てる。	人とのコミュニケーションの取り方について、考えよう。 1 インターネット上でのやり取りの経験を振り返る。 2 「見えない誰かと」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	【D(22)よりよく生きる喜び】 30 遠く離れた人に会いたい	分身ロボット「OriHiMe」を開発した吉藤健太郎さんについて書かれた文章から、自分の弱さと向き合い生きていくことについて考えさせ、弱さを乗り越え、よりよく生きていこうとする心情を育てる。	3 「まなびの記録」に記入する。 自分の弱さと向き合い、生きていくことについて、考えよう。 1 自分の弱さを振り返る。 2 「遠く離れた人に会いたい」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(21)感動、畏敬の念】 31 宇宙の始まりに思いを寄せて	天文学者の大内正己さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、人間の力を超えるものに対する感動や畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。	感動する心を見つめよう。 1 ヒミコの想像図を見て、感想を出し合う。 2 「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
2月	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 32 異なり記念日	「異なり記念日」に込めた斎藤陽道さんの家族に対する思いを通して、家族のつながりとはどんなものかについて考えさせ、家族の在り方を見つめ、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を育てる。	家族のつながりとは、どんなものだろう。 1 自らの考える、自分の家族のよさについて振り返る。 2 「異なり記念日」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 33 二番目の悪者	金のライオンが意図的に仕組んだうそを、ただ受け入れ広めてしまった動物たちの物語を通して、何かを判断するときにはどんなことを大切にすればよいかについて考えさせ、自分の行動を自分の意志で考え、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	何かを判断するときには、どんなことを大切にすればよいだろう。 1 情報を得て発信するとき、その情報の正しさを判断できているかを振り返る。 2 「二番目の悪者」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 34 泣きすぎてはいけない	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、自分の命の大切さを自覚し、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	「生きる」ということについて、考えよう。 1 「生きる」とはどういうことかを出し合う。 2 「泣きすぎてはいけない」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
3月	【内容項目を限定しない】 35 一年間の学びを振り返ろう	これまで記入した「まなびの記録」や花火師の柏井のの子さんのルールから、1年間の道徳科で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 1年間の道徳科の学びを振り返る。 2 「一年間の学びを振り返ろう」を読んで考える。 3 花火師の柏井さんのルールを参考に、「自分のルール」を作る。

令和7年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 2学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標

「地域や社会と私」

正しい職業観を育てるとともに、地域社会との関わりについて、自ら学び、考え、表現できる力を育てる。
また、主体的な活動を通じて自分の良さを活かし、よりよい進路選択へとつながる考え方の基礎を養う。

月	単元	内容	時数
4	進路学習についての導入	総合的な学習について 身の回りの人への感謝の気持ちについて考える。	1
5	進路学習について	働くことについて考える。色々な職業について知る。	2
6	職場体験に向けての取組	職場体験について学習する。	2
	上級学校調べや上級学校訪問に向けての取組	事前学習 訪問体験（夏休みに訪問予定。レポートにまとめる） 事後学習	2
7	職場体験に向けての取組	職業について	1
		事業所決定	1
9	職場体験（実施できない場合は、それに代わる体験的な行事を考える） 色々な社会に触れよう（1）	社会人としての心構え	2
事前学習・事前訪問		4	
職業体験		11	
事後学習		2	
12	校外学習に向けての取組	校外学習へ向けての準備	2
1 2	校外学習、校外学習事後学習	校外学習、校外学習事後学習	10
3	色々な社会に触れよう（2）	様々な職業について学び、自分の将来や生き方、在り方について考える。	2

計42時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和7年度 教科「日本語」年間指導計画 2 学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時数
4	哲学	もう一度「考える」ことを考える	1
	哲学	自然と共に生きることを考える	1
5	哲学	生きることについて考える 職業と好きなこと	2
	哲学	人とのかかわりについて考える	1
6	表現	相手・場面とことば 電話のかけ方 手紙の書き方	1
	表現	相手に対するマナーについて	2
7	表現	演劇で育むコミュニケーションの力	2
9	日本文化	「衣」－着る 和服 浴衣 着物	3
	哲学	自然とともに生きることを考える 環境先進国 江戸	1
10	表現	手紙を書こう	1
	哲学	ことばと文化	1
11	日本文化	演劇で育むコミュニケーションの力	3
	表現	コマーシャルの秘密 メディアリテラシー	3
1	日本文化	「楽」－楽しむ 川柳 落語	2
2	日本文化	食育 生産者の話を聞く 無茶々園の方による講習	1
3	表現	「日本語」の学習のまとめ	3

計 28 時間

※単元や内容を変更することがあります。

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
4月		1 広がる学びへ ○見えないだけ	作品を通して感じたことや、友達と話し合ったことを基に、詩の特徴が効果的に伝わるように工夫して朗読案を考える。	知・技 (1) エ	知・技 主体的態度	表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。	授業観察 ノート 定期考査
		○アイスブラネット	登場人物の言動や心情を表す表現から、「僕」の心情の変化を捉える。	知・技 (1) エ 思・判・表C(1)ア 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		○問いを立てながら聞く	意見と根拠を整理し、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。	知・技 (2) ア 思・判・表A(1) ア・エ 思・判・表A(2)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。	授業観察 ノート
5月		○枕草子	自分流「枕草子」を書く。 「枕草子」の形を借りて、自分ならではの季節感を表す文章を400字程度で書く。	知・技 (3) イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1)オ	知・技 思・判・表 主体的態度	自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。	授業観察 ワークシート 朗読テスト 定期考査 授業観察 ノート
		○情報整理のレッスン 思考の視覚化 ○多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 ・集めた情報を整理する。 ・自分の考えをまとめる。 ・割り付け（レイアウト）	知・技 (2) イ 思・判・表B(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	積極的に情報と情報の関係の様々な表し方を理解し、使おうとしている。 興味をもった職業について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理している。	授業観察 ワークシート
		○漢字に親しもう1 熟語の構成	教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。	知・技 (2) イ	知・技 主体的態度	熟語の主な構成について理解している。	授業観察 定期考査
6月		2 多様な視点から ○クマゼミ増加の原因を 探る ○魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	本論を読み、調査によって明らかになったことを二つに分けて捉える。本論での説明の仕方の特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して捉える。 相手の知りたいことを想定し、効果的な説明の仕方についてグループで話し合う。進行案に基づき、グループごとにプレゼンテーションを行う。	知・技 (1) オ 思・判・表C(1) ア・ウ 思・判・表C(2)ア 知・技 (1) ア 思・判・表A(1) イ・ウ	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えの組み合わせに着目して、説明の仕方の特徴を捉えている。 多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができている。	授業観察 ワークシート 定期考査 授業観察 ワークシート プレゼンテーション
		○漢字に親しもう2	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技 (1) ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	授業観察 定期考査
		○文法への扉1 単語をどう分ける	単語がいくつかの分類に分けられていることを知り、そのうちの「自立語」について知ることができる。	知・技 (1) オ	知・技 主体的態度	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文中に果たす役割について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
		情報社会を生きよう ○メディアを比べよう	メディアから適切な情報を得るためにどのような方法で何を確認すべきか、わかったことをまとめ、どんな情報も発信者によって編集されたものであることを理解させる。	知・技 (2) イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1) イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	同一の話題について書かれた複数のメディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。「書くこと」において、目的や意図に応じて多様な方法で集めた材料を整理している。	授業観察 ワークシート

3 言葉と向き合う
○短歌に親しむ

言葉 1
類義語・対義語・多義語

好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書く。目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。
似た意味の言葉を使って物語を書く活動を通して、言葉の共通点や相違点を明確にし、語感を磨く。

○言葉の力

文章を三つのまとまりに分け、それぞれの内容を要約する。

知・技 (1) エ
思・判・表 B (1) ウ
思・判・表 C (1)
エ・オ
知・技 (1) エ
知・技 (3) エ
思・判・表 C (1) オ
思・判・表 C (2) イ

知・技
思・判・表
主体的態度
知・技
思・判・表
主体的態度
知・技
思・判・表
主体的態度

自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。
気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨いている。
挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。

授業観察
ワークシート
定期考査
授業観察
ワークシート
小テスト
授業観察
ワークシート
定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 国語科】

担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	4人間のさずな ○ヒューマンノイド	登場人物の言動や様子を描いた表現から、人柄や心情を考える。	知・技 (1) エ 思・判・表C(1)イ 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	構成や場面展開についての理解を深め、登場人物の言動の意味を考えながら、作品を読み味わっている。	授業観察 ワークシート ノート
		○字のない葉書	父親の言動から、その人柄や心情を捉える。亡くなった父親に対して今の「私」がどんな思いを抱いているかを考える。戦時中の家族の生活から命の尊さについて考える。	知・技 (3) エ 思・判・表C(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	言動や様子を表す表現に着目して、父親の人柄や心情を読み取っている。 父や妹の様子から、命の尊さについて考えている。	定期調査 授業観察 ワークシート ノート 定期調査
		○【推敲】表現の効果を考える	教材文を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて発表し合う。	知・技 (1) カ 思・判・表B(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	四つの観点を理解して、誤りが無い文章にしている。	授業観察 作文 ワークシート
		○表現を工夫して書く 手紙や電子メールを書く	「目標」や「学習の見通しをもうと」などから本数、相手と目的、内容を決めて下書きをする。友達の助言も踏まえて遂行する。	知・技 (1) ア・カ 思・判・表B(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	伝えたい内容を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書いている。	授業観察 作文 ワークシート
1 0 月		○漢字に親しもう3 5論理を捉えて ○モアイは語る―地球の未来	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。 筆者の論の展開と主張を捉える。 序論での問いや問題に対応した説明を確認する。 本論の話題に応じた小見出しを付ける。 イースター島と地球の状況から筆者の主張を捉える。 教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。	知・技 (1) ウ 知・技 (2) ア 思・判・表C(1) エ・オ	知・技 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。 序論の問題提起に対応した本論の説明や本論を受けた結論など、論の展開をおさえて、筆者の主張を捉えている。	定期調査 授業観察 ワークシート ノート 定期調査
		○思考のレッスン2 根拠の吟味	教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。	知・技 (2) ア	知・技 主体的態度	今までの学習をいかして、積極的に意見と根拠の関係をjつて理解しようとしている。	授業観察 ワークシート ノート
		○根拠の大切さを考えて書く 意見文を書く	根拠の適切さや反論を想定して文章構成を考える。完成した意見文を友達と読み合い、説得力があったところや改善点を伝え合う。	知・技 (2) ア 思・判・表B(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	授業観察 ワークシート ノート
		○漢字に親しもう4 ○【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合う	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。 討論のテーマを決め情報を集める。立場を決めてグループで討論を行う。	知・技 (1) ウ 知・技 (2) ア 思・判・表A(1) ア・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。 すすんで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもつて討論しようとしている。	授業観察 ワークシート ノート
2 学 期		○音読を楽しもう 月夜の浜辺	七音の繰り返しやリズムや反復の効果を味わい、情景心情を想像しながら読む。	知・技 (1) エ 思・判・表C(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	表現の効果について考え、今までの学習をいかして詩を朗読しようとしている。	授業観察 ノート 朗読テスト

11月	6にしえの心を訪ねる ○音読を楽しむ 平家物語	「平家物語」の主な内容と文章の特徴を知る。 教材文を朗読（音読）、あるいは暗唱する。	知・技 主体的態度	歴史的仮名遣いやリズムなど作品の特徴を捉えて朗読しようとしている。	授業観察 ワークシート ノート 音読テスト 定期考査
	○属的「平家物語」から ○仁和寺にある法師―「徒然草」から ○漢詩の風景	「平家物語」に描かれたものの見方や考え方に ついて、自分の考えをもつ。「弓流し」の場面 も合わせて読み、武士の考え方を捉えさせ る。 登場人物の行動を捉え、作者のものの見方を考 える。 漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を読み 味わう。	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の行動から心情を考え、そこに表れた価 値観などに対して、自分なりの考えをもち、意見 を述べている。 登場人物の行動を通して述べられた作者の考えに ついて、自分の考えをもち、述べている。 それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情 を、表現に基づいて想像し、まとめている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査 授業観察 ワークシート ノート 定期考査
	7価値を語る ○君は「最後の晩餐」を知っ ているか	「かっこいい」のほか、文末表現も「だろう」 「ではないか」など、主観的な表現が多く用い られていることに注意させ、使われている語句 と「評論」という文章形態との関係も意識させ る。	知・技 思・判・表 主体的態度	語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のもの 見方や考え方を読み取っている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
12月	○魅力効果を伝える 鑑賞文を書く	絵を見て感じたことを付箋などに書き出し、そ れをもとに構成を考え、鑑賞文を書く。	知・技 思・判・表 主体的態度	作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様 子を具体的に説明することができている。	授業観察 ワークシート ノート 作文 ノート 定期考査
	○漢字に親しもう5	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしてい る。	授業観察 ワークシート 定期考査
	○文法への扉2 用言の活用	活用の意味や用語について理解する。	知・技 主体的態度	用言の活用形と活用の種類を理解して問題を解く ことができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
	読書に親しむ ○研究の現場にようこそ 日本に野生のゾウやサイがい たころ/クモの糸でバイオリン	教材文を自分の知識や経験と結びつけて読み、 初めて知ったこと、興味をもったこと、疑問に 思ったことなどを伝え合う。	知・技 主体的態度	教材文を通して研究者の考え方や探究心に触れ、 研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。	授業観察 ワークシート ノート

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 国語科】

担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	6 表現を見つめる ○走れメロス ○漢字に親しもう6	描写や会話に着目して、登場人物の人物像の変化を捉える。 新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技 (1) エ 思・判・表 B (1) ウ 思・判・表 C (1) イ・オ 知・技 (1) ウ	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 主体的態度	登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。 積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査 授業観察 ノート
		○文法への扉 2 付属語	「付属語」を読み、助詞、助動詞の働きと種類について理解する。	知・技 (1) オ	知・技 主体的態度	助詞と助動詞の働きや種類について整理した内容を理解している。	授業観察 ワークシート ノート 定期考査
		○「ある日の自分」の物語を書く ○話し言葉と書き言葉 ○送り仮名 ○国語の学びを振り返ろう	自分を登場人物の一人として、物語のあらすじを考える。 話し言葉と書き言葉の違いについて例文をもとに考える。 教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 口頭発表のために内容を整理し、資料を作る。それぞれが3分程度で発表し、質問や感想を伝え合う。	知・技 (1) オ 思・判・表 B (1) イ・オ 知・技 (1) イ 知・技 (1) ウ 知・技 (1) オ 知・技 (2) イ 思・判・表 A (1) オ 思・判・表 B (1) エ 知・技 (1) エ 思・判・表 C (1) オ	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 主体的態度 知・技 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。 話し言葉と書き言葉の特徴を生かして表現する際にどんな注意が必要か考えることができる。 送り仮名の主な原則と例外について理解している。 資料や機器などを効果的に使い、分かりやすく説明している。	授業観察 ワークシート 作文 授業観察 ワークシート 授業観察 ワークシート 定期考査 授業観察 ワークシート ノート
3 月	3 月	○木 振り返り ○学習を振り返ろう	詩の表現について考え擬人法の効果や、筆者のものの見方について語り合う。 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことばを伝え合ったりする。	知・技 (1) エ 思・判・表 C (1) オ 知・技 (1) ア・カ 知・技 (2) ア 思・判・表 A (1) イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度 知・技 思・判・表 主体的態度	「愛」「正義」など抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。 一年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	授業観察 ワークシート ノート 授業観察 ワークシート ノート

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 社会科】 担当：崎 涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	2 節 江戸幕府の成立と対外政策	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府のしくみの特色や幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	近世の日本 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、幕府の対外政策などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○幕府の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、身分制度の目的や民衆の生活の様子や幕府の成立と対外関係など、近世社会の変化の様子について、主体的に追求しようとしている。	ノート 授業観察 定期考査
	5 月						
	6 月	3 節 産業の発達と幕府政治の動き	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりがりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。	近世の日本 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○江戸時代の政治改革の特色について、それぞれの政治改革を比較しながら考察し、それぞれの改革の特色を理解している。 ○元禄時代や文化文政の時代の民衆の暮らしや文化の特色について、資料を比較しながら考察し、時代背景と合わせてまとめることができる。	定期考査 ノート 授業観察
	7 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 社会科】 担当：崎 涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	7 節 北海道地方 歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 1 節 欧米における近代化の進展	北海道地方の自然環境を軸に、雄大な自然にともなう人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考えさせる。 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	日本の諸地域 アイヌ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○北海道地方の自然環境についての知識を基に、雄大な自然にともなう人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考察し、地域の発展や環境保全のあり方について追及しようとしている。 ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	ノート 授業観察
	2 月	2 節 欧米の進出と日本の開国	開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させる。また、開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。	近代の日本と世界 アイヌ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○開国までの道すじや、開国から討幕までの動きの中で日本が受けた政治的、経済的、社会的な影響について考察するとともに、日本と世界を大観しながら追及しようとしている。	定期考査 ノート 授業観察
	3 月	3 節 明治維新 新政府の成立 明治維新の三大改革 富国強兵と文明開化	開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことを理解させる。また、新政府の諸改革が進められる中で、人々の生活がどの様に変化したかを考えさせる。	近代の日本と世界 アイヌ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○新政府の諸改革の特色を理解している。また、これららの改革が近代国家の形成において、どのような役割を果たしたかを考察するとともに、新政府が目指した国家のかたちをイメージしようとしている。	ノート 授業観察

【2年 数学科】担当：田村 健

授業観察
自己評価シート
ト
振り返りシート
ト
レポート課題
問題集提出
単元確認テスト
ト
休み明けテスト
ト
定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：田村 健

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	1 0 月	3章 一次関数 1節 一次関数と方程式 2節 一次関数の利用	①方程式 $ax+by=c$ のグラフの意味を知る。 ②方程式のグラフを、2点を求めてかくことができる。 ③ $y=kx$ のグラフ、 $y=kx+b$ のグラフの意味を知り、かくことができる。 ④連立方程式の解とそのグラフの交点の座標と関係を知る。 ⑤2直線の交点の座標を、連立方程式を用いて解くことができる。 ⑥身のまわりの場面から問題を設定し、一次関数を用いて問題を解決することができる。 ⑦一次関数とみなして問題を解決することができる。 ⑧動点の様子を一次関数で捉えることができる。	C 関数(1) A ア(ア) イ イ(イ) イ イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇一次関数について理解している。 ◇事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解することができる。 ◇二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ☆1次関数として捉えられるものの数量について、変化や対応の傾斜を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○一次関数のよさを実感し結び強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたら、一次関数を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
		4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 図形の性質の利用 3節 証明	①対頂角の性質を知る。 ②平行線と同位角の関係性がわかる。 ③平行線と錯角の関係性がわかる。 ④平行線の性質を使った証明ができる。 ⑤三角形の内角の和がいくつかわかる。 ⑥三角形の内角と外角の関係がわかる。 ⑦角の分類と、角による三角形の分類ができる。 ⑧多角形の内角の和の求め方がわかる。 ⑨多角形の外角の和の求め方がわかる。 ⑩合同な図形の性質を知る。 ⑪三角形の合同条件がわかる。 ⑫平行線や角の性質などを利用して、へこみのある図形の角の大きさを求めることができる。 ⑬三角形の合同条件を利用して距離を求めることができる。 ⑭証明の必要性を知る。 ⑮仮定と結論の意味を知る。 ⑯証明の仕組みとつながりに気付くことができる。 ⑰証明の意味とその仕組みを知る。 ⑱三角形の合同条件を使って簡単な図形の性質を証明することができる。	B 図形(1) ア ア(ア) イ イ(イ) イ イ(イ) B 図形(2) ア ア(ア) イ イ(イ) イ イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平行線や角の性質を理解することができる。 ◇多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ◇平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ◇証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ☆基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質をもとにそれらを確かめ説明することができる。 ☆三角形の合同条件などをとに図形の性質を論理的に確かめることができる。 ○図形の性質などを証明することのよさを実感し結び強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたら、平面図形の性質を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
2 学期	1 1 月	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 2節 四角形 3節 図形の性質を利用した証明	①二等辺三角形の基本性質を知り、その証明をすることができる。 ②正三角形の性質を知る。 ③2角が等しい三角形は二等辺三角形であることがわかる。 ④逆の意味を知り、その真偽を正しく判断することができる。 ⑤あることが正しくないことを、反例をあげて示すことができる。 ⑥正三角形の性質を知る。 ⑦直角三角形の合同条件がわかる。 ⑧直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明することができる。 ⑨平行四辺形の定義と性質がわかる。 ⑩平行四辺形の性質の証明ができる。 ⑪平行四辺形になるための条件やそれを使った証明ができる。 ⑫長方形、ひし形、正方形と平行四辺形の関係がわかる。 ⑬底辺が共通な三角形の性質がわかる。 ⑭四角形と面積が等しい三角形をつくることができる。 ⑮正三角形の性質や三角形の合同条件を利用した証明ができる。 ⑯条件を変えたときにも成り立つことの証明ができる。	B 図形(2) ア ア(ア) イ イ(イ) イ イ(イ) 内 (1.1)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇直角三角形の合同条件について理解することができる。 ◇証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ☆三角形の合同条件などをとに三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を認んで新たな性質を見いだすことができる。 ☆三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。 ○図形の性質などを証明することのよさを実感し結び強く考え、三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたら、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
		1 2 月					

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：田村 健

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率 2節 確率の利用	①同様に確からしいことの意味を知り、確率の求め方がわかる。 ②簡単な場合について確率を求めることができる。 ③確率 p の値の範囲、及び $p=1$ 、 $p=0$ の意味がわかる。 ④樹形図や表などを用いて、起こりうる場合をもれや重なりがないように整理することができる。 ⑤いろいろな場合について確率を求めることができる意。 ⑦確率を余事象の考えによって求めることができる。 ⑧くじをさきにひくかあとにひくかであたりやすさに違いがあるかどうかを、樹形図を使って考えることができる。 ⑨あたりの本数やくじを引く人数を変えたときに、あたりやすさの違いがどうなるかを考えることができる。	D データの活用(2) A (ア) A (イ) イ (イ) イ (イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇多数回の試行で得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解することができる。 ◇簡単な場合について確率を求めることができる。 ☆同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ☆確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 ○場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感し粘り強く考え、確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
	2月	7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図	①箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を知ることができる。 ②四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図に表したりすることができる。 ③箱ひげ図を読み取ることができる。	D データの活用(1) A (ア) A (イ) イ (イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解することができる。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 ☆箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ○箱ひげ図や四分位範囲のよさを実感し粘り強く考え、箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりすることができる。	
	3月						

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	4月	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質の成り立ち 第2章 物質どうしの化学変化	物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもともの物質とは異なることを見いだして理解する。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。	◆1分野(4)ア(ア) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 物質の成り立ちについて観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第1章 生物と細胞	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解する。	◆2分野(3)ア(ア) ⑦		生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	
	5月	単元1 化学変化と原子・分子 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかわる化学変化	2種類の物質を反応させる実験を通して、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルを説明できると、化合物の組成は化学式で表されること、化学変化は化学反応式で表されることを理解する。 酸化や還元の実験を通して、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(イ) ⑦、⑧ ◆2分野(3)ア(イ) ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 化学変化について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第1章 生物と細胞	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解する。			生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	
	6月	単元1 化学変化と原子・分子 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 科学変化とその利用	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を通して、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。また、化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(ウ) ⑦、⑧ ◆2分野(3)ア(ウ) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 化学変化と物質の質量について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。			化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 静電気と電流についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、静電気と電流に関する現象について観察、実験などを行い、静電気の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	7月	単元1 化学変化と原子・分子 第5章 化学変化とその利用 第4章 電気の世界 第1章 静電気と電流	化学変化によって熱をとり出す実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解する。 静電気の性質および静電気と電流には関係があることや、静電気と放電を関連させ、放射線の性質と利用について理解する。	◆1分野(4)ア(イ) ⑦ ◆1分野(3)ア(ア) ④ ◆2分野(3)ア(イ) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 静電気と電流についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、静電気と電流に関する現象について観察、実験などを行い、静電気の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。			植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。 植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 理科】

担当：下出・加瀬

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質	電流に関する観察、実験を通して、電流、電圧のはたらきを理解するとともに、回路の各点に流れる電流や、各部分の電圧について調べ、技術を身につける。	◆1分野(3)ア(ア) ⑦、④、⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流に関する現象について実験などを行い、電流と電圧、電流の働き、規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
10 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	
	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	
11 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	
	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	
12 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	
	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ⑦、④	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法、則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
	単元2 生物のからだのつくり とはたらき 第2章 植物のからだのつくり とはたらき 第3章 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ⑦、④		動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 理科】

担当：下出・加瀬

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	単元3 第1章 天気とその変化 気象の観測	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについて的基本的な原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア (ア) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 第3章 生物のからだのつくり とはたらき 動物のからだのつくり とはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	
		単元3 第2章 天気とその変化 雲のでき方と前線	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア (イ) ⑦、⑧	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 第3章 生物のからだのつくり とはたらき 動物のからだのつくり とはたらき 第4章 刺激と反応	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	
3 学期	3 月	単元3 第3章 天気とその変化 大気の動きと日本の 天気	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響などに関する基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア (ウ) ⑦、⑧ ◆2分野(4)ア ⑦	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 第4章 生物のからだのつくり とはたらき 刺激と反応	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探究している。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口絃子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名【教材名】	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	声部の役割 混声3部合唱『翼をください』	声部の役割と全体の響きのかかわりを理解して歌おう	歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・表現 主体的に学習に 取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方など技能を身に付け歌唱で表している。	観察 ワークシート
	5 月	夏の思い出	音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図を曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 実技
1 学期	6 月	声部の役割の理解 『フーガ短調』 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価と根拠について考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 音色、テクニクス、形式を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考えよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 定期考査
	7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】				曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体	

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口絃子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名 (教材名)	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価標準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方など技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、強弱、旋律、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験
	10 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 曲の構成の理解 Beethoven『交響曲第5番』	音楽の構造を意識して、管弦楽の豊かな響きを鑑賞しよう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音色、テクニクス、形式を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考えよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート
	11 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよさを味わおう 『勧進帳』	歌舞伎の特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しむ 長唄の特徴をとらえて表現・鑑賞し、よさを味わおう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わっている。	観察 ワークシート 定期考査
	12 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよさを味わおう 『アイーダ』	オペラの特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しむ	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わっている。	観察 ワークシート

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 音楽科】

担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	箏 又は 三味線	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした楽器表現を創意工夫して演奏する。	器楽-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で奏している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、曲にふさわしい楽器表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験
		世界の諸民族の音楽	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞-ア・イ	知覚・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音色、リズム、旋律、テクニクスを聴き、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しむことができる主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
	2 月 3 月	国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-ア・イ		曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しむながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	オリエンテーション 鑑賞「緑響く」 「水と筆を操る」 ・雪舟「秋冬山水図・冬景色」 鑑賞 ・片障、阿隈、すじ隈で調墨を 体験する	○一年間の学習の流れや目標を把握できるようにする。 ○東山魁夷作「緑響く」を鑑賞し作者の心情と意図や工夫を見つめられるようにする。 ○雪舟「秋冬山水図・冬景色」を鑑賞し、色を使わない水墨画ならではの表現の良さと工夫点を見つめられるようにする。 ○墨の濃淡と筆への含ませ方で多様な表現ができることを理解できるようにする。	B鑑賞(1)-ア A表現(2)-ア (ア)(イ)	知識・技能・表現 主体的に学習に取り組む態度	・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ、作者の心情と意図や工夫を見つめられることができる。 ・作品を鑑賞し、冬景色の雰囲気や表現するための工夫や墨の色や筆の使い方などから見つけることができる。 ・水墨画の表現の基礎となる筆への墨の含ませ方(調墨)を理解し、表現することができる。	プリント評価 授業観察
	5 月	「水と筆を操る」 ・四君子(蘭竹梅菊)を描いて 運筆を学ぶ	○水加減による濃淡や筆の運びによる線の勢いなどに着目し、単色により作り出されるイメージをとらえその特性を生かして表すことができるようにする。 ○表現する題材のイメージをつかみ濃淡や線の効果を考え、表現しようとすることができる。 ○墨の表現の特性を生かして表すことに関心をもち、意欲的に取り組むことができるようにする。	A表現(2)-ア (ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能・表現 主体的に学習に取り組む態度	・表現する形によって墨の含ませ方や運筆を工夫しより良く表現することができる。 ・題材の「らしさ」を表現するために構想し、的確な濃淡や運筆、構図を選択して表現できる。 ・水墨画の表現に関心をもち、意欲的に表現に取り組むことができる。	授業観察 プリント評価 作品評価 自己評価
	6 月	「水と筆を操る」 ・イメージを切り取り表してみよう ・定期考査	○イメージを伝えるための技法を的確に選択し墨の濃淡や運筆を工夫して表現できるようにする。 ○制限のある短冊の形にイメージしたことを効果的に伝える構図や技法を練り、表現につなげることができるようにする。 ○墨の表現の特性や構図の効果に関心をもち、意欲的に取り組み、見通しを持って制作をすることができるようになる。 ○授業で学んだ知識や技能を再確認し、今後の制作に役立てられるようにする。	A表現(2)-ア(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能・表現 主体的に学習に取り組む態度	・イメージを伝えるための技法や表現方法を選択し、墨の濃淡や運筆を工夫して表現することができる。 ・自らの制作の主題を設定し、短冊の構図で効果的な表現を模索し、表すことができる。 ・イメージを伝えるための表現方法を意欲的に模索し、より良い作品にするために試行錯誤するなど主体的に学ぶことができる。 ・授業で学んだ知識や技能が走着できている。	授業観察 作品評価 自己評価 期末考査
	7 月	「水と筆を操る」 ・作品を魅せる展示を工夫しよう (表装)	○自分の作品をより良く見せる展示方法を工夫し表装できるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、良さや美しさを感じ、作品を魅せるための表現の工夫点を見つめられるようにする。 ○主体的に制作や鑑賞活動に参加し、学びを深められるようにする。	A表現(2)-ア(イ) 共通事項(1)-ア B鑑賞(1)-ア(ア)	知識・技能・表現 主体的に学習に取り組む態度	・作品や主題を引き立てる表装になるように装飾を考え、制作することができる。 ・友人の作品から良さや美しさや表現の工夫点を見つめ、自分の作品を振り返ることができる。 ・主体的に制作や鑑賞活動に参加し、自分の考えを持って次回への制作につなげる学習をすることができる。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9月		鑑賞 「日本の伝統工芸」 「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 作品の構想を練る アイディアスケッチ 組木の接合	○伝統工芸の技のすばらしさや作品の美しさ、作者の創造的な工夫などについて考え鑑賞することができるようにする。 ○使う人の気持ちを考えてデザインし、使い勝手の良い工芸品の形を考えることができるようにする。 ○4色の木の色を効果的に組み合わせ独自の美しい模様を追求しようとすることができるようにする。	B鑑賞(1)-ア-(イ) A表現(1)-イ-(ア)(ウ) 共通事項(1)-アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・教科書や参考作品を鑑賞し、伝統工芸品の技や作者の思い、工夫を感じ取り自分の考えを持つことができる。 ・使う人の気持ちを考え、美しく使いやすい作品の構想を練ることができる。 ・組み木の美しさを感じ、木の色の美しさを生かした組み合わせを考えることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアスケッチ 自己評価
	10月	「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 組木の接合、組み立て	○用具の特性を生かし、自分の表したい作品に合った方法や用具を選択し、手順を考えながら見通しを持って制作を進められるようにする。 ○立体作品を作るうえで構造を理解し、どのように組み立て、形作っていくか構想を練り表現できるようにする。 ○自分の考えや見方を深めながら、主体的に制作に取り組めるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・表現したい模様や形に合った組み立て方や用具を選択し、手順を考えながら効果的に正しく使用できている。 ・表現したい形の構造から制作手順や方法を構想し、表現することができる。 ・使う人の気持ちを考え、どうしたら美しく使いやすい道具をつくることができるか考え、主体的に制作に取り組むことができる。	授業観察 作品評価 自己評価
11月		「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 定期考査	○道具の正しい使用方法や材料の特性を理解し、安全に作業できるようにする。 ○使う人の気持ちになつて丁寧に作業を進め、見通しを持って制作を進めることができるようにする。 ○授業で学んだ知識や技能が定着し、今後の制作活動に生かせるようにテスト対策を行う。	A表現(2)-ア-(ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・材料や用具の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。 ・表現したい形に合った道具を選択し、手順を考えながら効果的に正しく使用できている。 ・授業で学んだ知識や技能が定着できている。	授業観察 作品評価 自己評価 定期考査
	12月	「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ ニス塗り 作品相互鑑賞	○計画に沿った制作になつていくか見直し、よりよく仕上げを行うことができるようにする。 ○友人の作品を鑑賞しよさや美しさ、工夫を見つけることができるようにする。さらに、自らの制作を振り返り、友人の工夫から自分の制作に生かせることを学び取れるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) B鑑賞(1)-ア-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・道具の特性を理解し、丁寧に仕上げを行うことができる。 ・友人の作品から良さや美しさを感じ、用途や道具としての工夫を見つけることができる。また、自分の制作に生かせることを学び取ることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

2学期

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【2年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～ 参考作品鑑賞 アイディアアスキETCH 本作品制作	○東京オリンピックで使われたピクトグラムを鑑賞し、形や色彩などによる伝達の効果を見ることができようにする。 ○学校や地域で人に伝えたい場面を想定し、見る人のためになるピクトグラムを考えることができるようにする。 ○ひと目で伝わるピクトグラムをデザインすることに関心を持ち意欲的に取り組めるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(ア) 共通事項(1)-ア A表現(1)-イ-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・参考作品を鑑賞し、伝えたい内容を表すための表現の工夫、配色や簡略化した形の効果に気づくことができる。 ・伝えるためのデザインであることを考え、具体物を強調や省略することにより伝わりやすい表現の構想を練ることができる。 ・進んで課題に取り組む、自らの主題を生み出し、表現するために計画的に制作を進めることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアアスキETCH 自己評価
	2 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～	○伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、行為を表す形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ることができようにする。 ○道具や絵具などの特性から手順を考え、見通しを持って表すことができようにする。	A表現(2)-ア-(ア) (イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・主題を表現するために効果的な形や配色を考え制作に生かすことができる。 ・定規やマスキングなど自分の主題に合った道具を選択して手順を考え、丁寧に制作を進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～ 作品相互鑑賞 一年間のまとめ・振り返り	○友人の作品を鑑賞し、使用する場所や伝えたい相手に伝わる工夫を見ることができようにする。 ○一年間の学習を振り返り、次年度の学習につなげることができようにする。	B鑑賞(1)-イ-(ア)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・友人の作品から使う目的や機能との調和のとれた良さや美しさを感じ取り、用途と制作の工夫点について考え見方や感じ方を深めることができる。 ・一年間の学習から生活を豊かにする美術の働きについて考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動 授業についてのオリエンテーション (集団行動・方向転換・ラジオ体操)	(1) 一定の集団がひとまとまりになり、行動するときの基本動作のきまりや、方向転換、集合・整とん、列の増減、行進などができるようにする。 (2) きまりを理解し、能率よく行動できるようにする。 (3) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができようとする。 (4) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができようとする。 (5) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができよう。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化することには気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手帳な運動や積極的な運動を行うことができよう。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	5 月・6 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができようとする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に応じた目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができよう。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができよう。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
2 学期	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、泳法を身につけることができるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができようとする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができよう。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考することをしていよう。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識をもっている。また、それに準じた行動ができよう。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9・10月		E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができている。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		B 器械運動	(1) 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がより良くできるようにする。 (2) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするなど、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができようとする。 (3) 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. マット運動 エ. 跳び箱運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・技がよくできたり、自分に適したレベルの技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・施設、用具の安全や、安全な行動に留意している。 ・課題に応じた運動の取り組み方を創意・工夫・思考している。 ・基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や体の使い方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
11・12月		C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができようとする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ハードル走 走り高跳び 走り幅跳び	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができている。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができている。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようになる。 (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることができようとする。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考えや、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ手を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ゴール型 「バスケットボール」 または ウ. ベースボール型 「ソフトボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができている。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	1月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できようにする。	ア. 長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができよう。 ・記録を高めたり、記録を高めたことのできる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・学年末考査
	2月・3月	G ダンス	(1) 感じを込めて踊ったりみんなと踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをもちあえた表現や踊りを通して交流ができるようにする。 (2) 互いに動きの良さを感じ方、表現の良さなどを認め合い、協力して練習したり、発表したり鑑賞できるようにする。 (3) ダンスの特性や学び方、鑑賞のポイントについて理解できるようにする。	イ. 創作ダンス	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダンスの楽しさや喜びを味わうことができよう。 ・互いの良さを認め合おうとしたり、分担した役割を果たそうとしたり、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・ダンスの特性に応じて、交流できるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身に付けている。 ・ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査
		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できようにする。	ア. ゴール型「ハンドボール」 又は、「サッカー」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとの確認					
	4 月	エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を身に つけよう ・電気に関する技術を知ろう ・機械に関する技術を知ろう ・実習の安全な進め方を知ろう ・つくってみよう 「電気工作」 ・問題を解決する工夫を考えよ う ・保守・点検のしかたを知ろう ・電気の安全な使い方を知ろう ・発電について知ろう	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働 かせた実践的・体験的な活動を通して、生 活や社会で利用されているエネルギー変換 の技術についての基礎的な理解を図り、そ れらに係る技術を身に付け、エネルギー変 換の技術と生活や社会、環境との関わりに ついて理解を深めるとともに、生活や社会 の中からエネルギー変換の技術に関わる問 題を見いだして課題を設定し解決する力、 安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実に エネルギー変換の技術を工夫し創造しよう とする実践的な態度を身に付ける。	C (1) アイ	知識・技能 知識・技能 知識・理解 主体的に学習に 取り組む態度 思考・判断・表 現 知識・技能 主体的に学習に 取り組む態度	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解して いる。 ・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的 な技術の仕組みを理解している。 ・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め 方を身に付けている。 ・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に 理解し、技術を身に付けようとしている。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えて いる。 ・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用につ いて理解している。	定期テスト 観察 定期テスト 観察 定期テスト ワークシート ワークシート ワークシート 定期テスト
	5 月						
	6 月						
	7 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
		エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を身に つけよう ・電気に関する技術を知ろう ・機械に関する技術を知ろう ・実習の安全な進め方を知ろう ・つくってみよう 「ラジオ制作」 ・問題を解決する工夫を考えよ う ・保守・点検のしかたを知ろう ・電気の安全な使い方を知ろう ・発電について知ろう	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働 かせた実践的・体験的な活動を通して、生 活や社会で利用されているエネルギー変換 の技術についての基礎的な理解を図り、そ れらに係る技能を身に付け、エネルギー変 換の技術と生活や社会、環境との関わりにつ いて理解を深めるとともに、生活や社会 の中からエネルギー変換の技術に関する問 題を見いだして課題を設定し解決する力、 安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実に エネルギー変換の技術を工夫し創造しよう とする実践的な態度を身に付ける。	C (1) アイ	知識・技能 知識・技能 知識・理解 主体的に学習に 取り組む態度 思考・判断・表 現 知識・技能	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解して いる。 ・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的 な技術の仕組みを理解している。 ・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め 方を身に付けている。 ・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に 理解し、技術を身に付けようとしている。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えて いる。 ・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用につ いて理解している。	定期テスト 観察 定期テスト 観察 定期テスト ワークシート ワークシート ワークシート 定期テスト
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	情報の技術 ・社会の発展と情報の技術 未来の社会を創造しよう ・より住みやすい町づくり ・様々な作業の自動化	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を発見し課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D（4）アイ	知識・技能 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・情報の技術が、生活や社会に果たす役割や影響について理解している。 ・情報の技術の概念を理解している。 ・より安全で持続可能な社会の実現に向けて、情報の技術を評価し、適切な技術の在り方について考えている。 ・よりよい社会や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造していこうととしている。 ・これまでの学習から、技術の発展がよりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ、技術の概念を説明できる。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して、技術を評価し新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を提言できる。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫し創造していこうとしている。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
	2 月						
	3 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:和田政子

指導の観点: 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	B 衣食住の生活 1. 住まいのはたらき とここちよさ 2. 安全な住まいで安 心な暮らし	・住まいの役割と家族との関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。 ・日本の住まい方の特徴をあげることができる。災害に備えた住まい方を工夫できる。	B (6) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・住まいは人間の生活や時代に応じて変化していくことを理解できる。 ・住空間と生活行為との関係を理解する。 ・災害に備えた住まい方を工夫し、災害が起きた時の対策を考え、災害が起きる。 ・住空間について考え、実生活に役立てようとしている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	5 月						
	6 月	B 衣食住の生活 3. 生活を豊かにする ものの製作	・生活を豊かにするよう布を用いた物の製作について計画を立てることができる。	B (5) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・エプロンの製作を通して基礎的な衣服の補修に関する技能を身につけることができる。 ・用具を使用するときの安全に気を付けて製作することができる。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	7 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:和田政子

指導の観点: 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	1 衣食住の生活 3 さまざまな食品と その選択	・生鮮食品、加工食品の特徴を 理解する。情報を正確に読み 取って判断し、選択できるよう にする。	B (4) イ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・生鮮食品、加工食品の特徴を理解し ようとしている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月						
	11 月	4 日常食の調理 魚の調理 肉の調理 野菜の調理	・安全と衛生に気をつけて日常 食の調理をすることができ 食品の調理上の性質を知り、適 切に調理することができ	B (3) アイ ウエ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・日常食の調理に関心をもっている。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を理解 できる。・肉・魚・野菜の調理に意欲 を持って取り組んでいる。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当:和田政子

指導の観点: 知識・技能 思考・判断 表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生 活情報 3 消費者被害と消費 者の自立 4 持続可能な社会	・契約について理解できる。 ・様々な販売方法と支払方法の特 徴について理解できる。 ・商品を適切に選択、購入、活 用することができ。 ・消費者トラブルの事例とその 解決方法を理解できる。	C (1) アイ (2) アイ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・生活にかかるお金の収入と消費のパ ランスの大切さを知る。 ・さまざまな購入・支払方法について 知り、消費生活のトラブルを防ぐ。 ・消費者の権利と責任について理解す る。	授業への取り 組み 期末試験 提出物
	2 月						
	3 月						

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 What can we experience on a trip?	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 題材 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 活動 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] ... の文の形・意味・用法を理解している。 思い出について、過去形や過去進行形、There is [are] ... の文を使い分けて、自分が経験したことを伝える技能を身につけている。 思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしようとしている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
		Real Life English Scene 1 機内放送 Grammar for Communication 1 Unit 2 What is local food	機内放送を聞き、必要な情報を聞き取りることができる。 題材 日本や外国の料理を知り、食文化の歴史や変化について考える。 活動 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	be going toや助動詞will, SV000やSV00Cの文の理解をもとに、予定や意思、予測などを伝え合ったり、名所の紹介や旅行の報告についての英文の内容を読み取ったりする技能を身につけている。 接続詞を用いた文の理解をもとに、お互いの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知らしめるために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告について文の文章の概要を捉えたりしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフオーマン ステオスト 行動観察 ノート ワーク
2 学期	6 月	Real Life English Scene 2 旅行先で Grammar for Communication 2 Unit 3 What kind of job are you interested in?	場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 題材 これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える。 活動 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。（発表は職場体験後に予定）	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、大切なと思うことを伝えたり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。 自分の将来像や夢を考えて伝え合うために、職業について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の夢や夢実現のためにしていることなどについて説明したりしようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフオーマン ステオスト 行動観察 ノート ワーク
		Real Life English Scene 3 仕事についてのインタビュー Grammar for Communication 3 Learning TECHNOLOGY in English Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food	インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 題材 自分のいちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を発表することができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。 （※自分の職業体験で体験したことは、2学期の職業体験後にまとめ、発表する予定） Unit 3までの学習事項を用いて、自分のいちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を伝え合ったり整理し、紹介文を書く技能を身につけている。	小テスト ワークシート パフオーマン ステオスト 行動観察 ノート

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	Let's Read 1 History of Clocks Unit 4 What is important in a homestay? Real Life English Scene 4 ホームステイのお礼状 Grammar for Communication 4	説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 題材 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 活動 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。 お世話になった人へ、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	have to, 助動詞must, 動名詞を用いた文の理解をもとに、する必要のあることやしなければならないこと、事実や気持ちを伝える場合の技能を身につけている。 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考えるために、習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを与えたりしようとしている。 手紙を書く際の基本的な構成と表現を用いて、お世話になったことなどについて、感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート ワーク
	10 月	Unit 5 What design is good for everyone? Real Life English Scene 5 アナウンス・案内	題材 どれも使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 活動 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 展示・販売会で流れるアナウンスやスタップの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝える場合の技能を身につけている。 どれも暮らしやすい社会について考えるために、身近なものを使い方ややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝え合ったりしようとしている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
1 1 月		Unit 6 How can we make a good presentation? Real Life English Scene 6 電車の乗り換え Grammar for Communication 5	題材 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 活動 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることが出来る。 比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝える場合の技能を身につけている。 調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしようとしている。 好みや要望を伝える表現を用いて、買い物のやり取りをする技能を身につけている。 買い物でほしいものを探すことができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	1 2 月	Stage Activity 2 My school and School Life Let's Read 2 A Glass of Milk	自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。 あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を述べることができる。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	Unit 6までの学習事項を用いて、学校や学校生活について調査し、その結果をまとめて、発表する技能を身につけている。 聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、学校や学校生活について調査し、その結果をまとめて発表しようとしている。 場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを捉える技能を身につけている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート

令和7年度 年間指導計画 ・ 評価計画

【2年 英語】

担当：中溝 亜矢実

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	Unit 7 What are World Heritage Sites and their problems? Real Life English Scene 7 買い物	題材 世界遺産の特徴について知り、その特 別な価値について考える。 活動 各地の世界遺産を紹介することができ る。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をする ことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取 り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて 事実などを整理し、理解したり伝え合ったりする技 能を身につけている。 世界遺産の特徴を知り、その価値について考えるた めに、事実などを整理し、紹介された文章の概要を 捉えたり、調べたことを紹介したりしようとしてい る。 買い物の際に使う表現を身につけている。	小テスト ワークシート パフォーママン ステスト 行動観察 ノート
	2 月	Grammar for Communication 6 Stage Activity 3 Let's have a Discussion	受け身の文の形の形・意味・用法を復習し、理 解を確かめる。 自分の立場を明確にして、意見を述べるこ とができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取 り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確 にして、意見を述べることができたり、相手からの 質問に答えたりする技能を身につけている。 自分の立場を明確にして、意見を述べることができ たり、相手からの質問に答えたりしようとしてい る。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	3 月	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら 内容を理解することができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取 り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度	時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある 人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る 技能を身につけている。 文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そ こからわかる環境問題について考えを伝え合ったり するするために、ある人物の生涯について書かれた文章 の概要を捉えようとしている。	小テスト ワークシート パフォーママン ステスト 行動観察 ノート